

2009.9

発行/坂城町商工会
 〒389-0601 長野県埴科郡坂城町
 大字坂城10051番地
 TEL 0268-82-3351
 FAX 0268-82-8228
 E-mail cci@sakaki.com
 http://www.sakaki.com/cci/

題字/商工会長・鈴木秀典 発行人/関戸啓司 印刷/サンプリント印刷



まちかど

「坂城どんでん」32回目の奇跡!

例年がない長雨の影響で、前日の降水確率も100%予報。開会式こそ雨で遅れましたが、準備の時間と踊り流しの時間帯には晴れ間がのぞきました。

圧巻は局地的に晴れたこと。なんと会場付近だけ晴れ、他は雨が降るとい珍しい現象。参加者の中でよほどの神通力を持った人がいたのかもしれない!?

〈主な内容〉

- P 2 商工会通常総会
- P 3 お知らせ
- P 4 新商品券・新部会長あいさつ
- P 5 住宅何でも相談事業
- P 6・7 シリーズおじゃまします
- P 8 青年部・女性部 編集後記

平成21年度通常総会開催

中小企業が抱える課題をワンストップで支援

会費一律20パーセント減額

平成21年度坂城町商工会通常総会が5月15日、会員330名(本人出席66名)の出席を得て、商工会館大会議室で開催されました。

今総会では、上程された

前年度事業報告並びに収支決算、今年度事業計画並びに収支予算書・会費賦課基準案等4議案を原案通り可決承認し、さらに任期満了に伴う役員選任案によって鈴木会長以下21名の役員を選出、今後3年間にわたる商工会運営を託しました。



尚、会費賦課基準については、会長冒頭あいさつで現下の経済情勢に鑑み現行額より一律20パーセント減額する事が提案されたものです。

その他、「ステキさかき共済」加入還元として、現行一口3千円を5千円に引き上げ交付する施策など、会員の暮らしと営業を守る事業も可決承認されました。

当会をはじめ県下商工会を取り巻く環境は、行政合併による商工団体の再編や広域化、加えて県・町の補助金事業の見直し、全業種にわたり受注・売上げが減少し、採算・資金繰りや雇用などの厳しさが増し会員の減少が続いています。

こうした厳しい経済状況に直面している現在、当商工会は地域の経済団体として中小企業支援機能を一層強化し、金融、労務、税務等をはじめとした経営支援事業の更なる拡充を図りま

す。そのため、地域力連携拠点事業・エキスパート事業等を活用し、経営力の向上や創業・経営革新などを支援します。具体的には、既に行っている「水曜定例相談」や「出前相談」、昨年12月から実施している「金融個別相談」、国の雇用調整助成金に対応した「経営体質強化研修」等を強化しながら、社会・経済情勢の変化に柔軟に対応してまいります。

また、これらの事業を担保する財政確立のため、固定費の抑制や、不要不急の経費節減に努めると共に、共済事業等による自主財源の確保にも努めます。

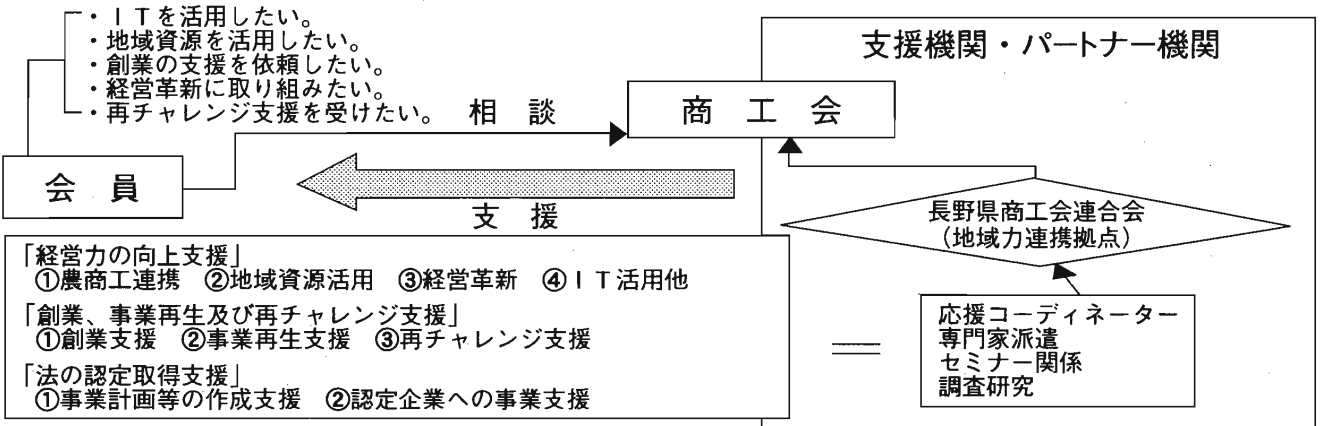
一方、事業執行に当たっては急を要する事業や事業効果が期待できるものについては積極的に取組み、本会の目標である「真に、会員のための商工会」を実践し、

会員、地域との一層の信頼関係を築くなかで組織の強

化と拡充に努めてまいります。本年度は、役員体制を改選した任期3年の初年度に当ります。役員一同会員の皆さまをはじめ地域の皆様から信頼される商工会創りに励んでまいりますので、何卒ご支援ご鞭撻の程お願い申し上げます。

坂城町商工会役員名簿

会長	鈴木 秀典
副会長	山崎 忠承
理事	関戸 啓司
	竹内 福人
	富田 健次
	池田 尚弘
	滝沢 幸男
	宮嶋 浩幸
	吉川 芳秋
	入部 和夫
	宮原 誠
	小宮山 傳
	小宮山 俊夫
	佐藤 洋子
	竹中 伸朗
	笠井 識敬
	高橋 新一
	中島 新
	滝澤 洋子
	新田 信吉
	白井 勝男
監事	(敬称略)



お知らせ

今後の主な事業日程

10月 青年・女性部 福祉ふれあいの集い協賛

11日 青年・女性部 クリーンキャンペーン

14日 理事会

17日 お客様大感謝祭

21日 能力開発学院第2期

23日 金融懇談会

8日 青年部視察研修

中旬 法人会税務研修会

18日 地域経済振興懇話会

27日 議会との懇談会

【12月】 青年部女性部忘年会

初旬 (株)まちづくり坂城

前半 株主総会

31日 決算説明会

青年・女性部 年末チャリティー

長野県商工会連合会

副会長 鈴木秀典

長野県商工会青年部連合会

副会長兼長野・北信支部長 田村 亮

長野県商工会女性部連合会 理事兼長野・北信支部理事 滝澤洋子

県制度資金のご案内 (他にもございます。別途ご相談下さい)

資金名	こんな時にご利用ください	限度額 (組合は別途)	利率 (年)
中小企業振興資金	一般	・ 早期に借入をしたい ・ 事業資金が必要な方	設備 1億円 運転 (長期・短期) 5,000万円 2.3% (1年以内2.0%)
	流動資産担保	・ 売掛金債権や棚卸資産を担保として借入をしたい	運転 5,000万円 2.0%
	短期資金緊急対策	・ 早期に短期のつなぎ資金が必要	運転 2,000万円 2.0%
	緊急借換対策	・ 月々の返済負担を軽減するため、県制度資金を借り換えたい	運転 3,000万円 (県制度資金残高に限る) 2.3%
経営健全化支援資金	経営安定対策	・ セーフティネット保証7号 ・ 売上・収益が著しく減少し、経営安定のために資金が必要	設備 3,000万円 運転 3,000万円 2.1%
	特別経営安定対策	・ セーフティネット1～5、6、8号 ・ 売上・収益が著しく減少し、経営安定のために資金が必要	設備 3,000万円 運転 5,000万円
	緊急雇用対策	・ 中小企業緊急雇用安定助成金等の支給を受けるために必要な計画(変更)届を長野県内の公共職業安定所に届け出た者	運転 1,000万円 1.8%
	災害対策	・ 災害に被災し、資金が必要	設備 3,000万円 運転 3,000万円

●お子さまの教育資金を「国の教育ローン」がサポート!

【ご融資額】 学生・生徒1人あたり200万円以内

平成21年8月3日以降、学生・生徒1人あたり300万円以内に引き上げ

【利率】 年2.5% (平成21年6月15日現在)

※平成20年10月からご利用いただける方の年収上限額が変更となりました。

詳しくは教育ローンコールセンター又は最寄の支店(国民生活事業)へ



0570-008656

(注) 1全国から市内通話料金でご利用いただけます。
2お客様が加入されている電話でご利用いただけない場合は、(03)5321-8656におかけください。

受付時間
月～金/9～21時
土曜日/9～17時
※日曜日、祝日、年末年始はご利用いただけません。

JFC 日本政策金融公庫
長野支店 国民生活事業

ご紹介

新支店長



長野県信用組合

坂城支店

中村勝則さん

この七月に約二十年ぶりに坂城に戻ってまいりました。現在の大変厳しい経済情勢を皆様と共に乗り切っていくため頑張っていく所存であります。今後ともよろしくお願ひ致します。

坂城商品券のデザインが 新しくなりました!

7月15日から、漫画家の矢口高雄さんのデザイン協力のもとに製作された新しい坂城商品券が発売されています。題字の「坂城商品券」「坂城町商工会」は、矢口さん書き下ろしです。プレゼントなどにぜひご利用ください。

利用案内

- ・坂城町商工会共通商品券加盟店のみで利用できます。
- ・有効期限は、券の購入から、購入日を含めた6ヶ月間です。
- ・この商品券は「プレミアム付き」ではありません。

お手持ちの商品券の有効期限をご確認ください!

皆さんがお手持ちの商品券の有効期限は大丈夫ですか。商品券の有効期限は6カ月間です。有効期限を過ぎてしまうと利用できなくなってしまうのでご注意ください。



新部長あいさつ

商業部会

活力



商業部会長
竹内 福人

百年に一度の世界大不況、我が国もまた当坂城町においても大変厳しい状況下、私ごときが部会長とは、大変なる戸惑いと責任の大きさを感

じておりまして。大型店の撤退、個人の廃業等、今年に入り益々商業を取り巻く状

況は厳しいものがあります。行政との協力のもとプレミアム商品券の発行、デザイン一新の商品券の発行と、商業の活性化に会員の皆様の御協力のもと事業を推進してまいりました。今後とも会員の皆様の声を事業に反映したいと思っております。経営の神様と言われた松下幸之助の格言に「希望を失わないでやっている」と自然と知恵も出てくる』会員の皆様「商」はアキナイ。一層のご指導、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

工業部会

2期目にあたり

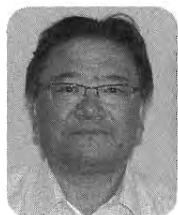
空前絶後の景気後退に伴い、町内企業の業績悪化が著しく謙虚に現れ懸念するところであり、今期後半からの業績回復が待たれるところです。

2期目となりました大役を、この大変な時期に引き受けることになり、身が引き締まる思いであり不安が募るばかりです。

町内企業すべての存続が望まれるところですが、個々の企業の生き残りを最優先に考え、制度資金を活用した資金対策は早めに商工会等へ相談をしていただきたいと思います。

現在は雇用対策資金、セーフティネット資金等さまざまな資金対策が取られています。しかし、返済時には利息プラス元金を支払いしなければなりません。現状の経営環境を考えた時、今もつとも必要とされている資金は、無利息の資金であり、今後とも工業に依存し潤いを求めるのであれば、町独自の「無利息資金」の早急な新設を町理事者に求めて行きたいと考えています。

工業に限らず製造業全般の動きを見たとき、これからも海外への生産依存は確実に増え、国内は研究と開発、高度な加工技術が必要とする部品や製品となるでしょう。町内の企業は、個々の部品作りの技術は極めて高



工業部会長
吉川 芳秋

く、やはり「世界の坂城」でしょう。高度な加工技術は日本にあり、また坂城にあり世界に誇れるものです。そして先人たちの物作りも、経験の積み重ねで習得された技術あり、これからのものづくりも高価な機械で裏技を駆使し、経験を積み重ねた技術で生き残りに期待したいと思います。



建設部会長
竹中 伸朗

未来への「変革」

昨年のリーマンショックに端を発した世界的金融危機の影響は、日本経済に想像以上の打撃を与え、底を打ったとの見方には異議がある。

最新の完全失業率は、5.7%に達し、今後2番底、3番底の到来予測も無視できない状況であります。政治をはじめとして我々を取り巻く現実社会は閉塞感に支配され、個人が抱えるストレスは既に頂点に達していると言っても過言ではない。私達が生活する坂城町は工業立国日本の縮図であり、坂城町を含めた東信地方の経済は国内最下位に低迷し、今こそ原点に立ち返り、「変革」を遂げなければ、我が町のみならず日本という国家そのものの未来もないと思う。

建設部会

青年部



青年部代表
中島 新一

日頃皆様には青年部活動におきまして多大なるご協力をいただきありがとうございます。

現在の経済不況で我々中小零細企業も大打撃を受けております。しかし、こんな時代だからこそ部員38名は一致団結し、青年部活動を通し見聞を広め、自己開発、地域貢献に努め、何事にも前向きに考え挑戦する勇氣と精神を培っていききたいと思います。

また今年度は26年ぶりに長野県商工会青年部連合会北信支部長という大役が坂城町商工会青年部に回って参りました。これも部員の協力と理解によりワークシェアリングにて遂行しております。これまで先輩方が築いてこられた伝統ある坂城町商工会青年部を大切に、100年に1度の不況の時代を生きるこの仲間達と共に郷土『坂城』の発展を目指し新しい視点、新しい発想で事業に取り組み挑戦し「自分達の今できること」を胸に行動していきたく思っています。

今後とも青年部に変わらぬご理解とご協力を宜しくお願いいたします。坂城町商工会青年部にできることがございましたらお申し付け下さい。

女性部



女性部長
滝澤 洋子

大変無力であります。部長をお引き受けいたしました。日頃女性部に対し御理解、御協力をいただきます事、心からお礼申しあげます。女性部としましては、部員の皆様の御協力をいただきながら、先輩の方々に築いていただいた事業を継承し「元気で楽しく」をモットーに活動していきたいと思っております。

七月に関東ブロック商工会女性部交流研修会が長野県を当番県として軽井沢で開催されました。他県や中央の女性の力強さと明るさを眼の当りにし「原始女性は太陽であった」という平塚らいちようさんの言葉が彷彿し、感激しました。それぞれの家庭や企業の中で太陽のような力を発揮し、今までに無いと言われる不況に立ち向かっている坂城町の女性部の皆様を想っています。がんばりましょう。よろしくお願ひ致します。

《住宅なんでも相談会》

建設部会では、11月8日(日)商工会館において「住宅なんでも相談会」を実施します。

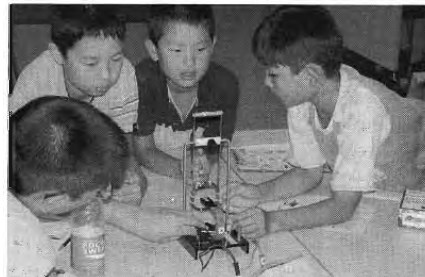
- ①建設業に対する潜在需要の掘り起こし
- ②建設業会員事業者のPR
- ③建設不況に苦しむ建設業振興

を目的として開催するものです。

建築に関するすべてのご相談にお答えできるよう建設部会幹事11名が商工会館に集まり、電話でのご相談にお答えします。

親身になってアドバイスします。どんなことでもお気軽にご相談ください。電話相談無料です。

日時 11月8日(日)
午前9時～午後1時
連絡先 坂城町商工会建設部会
TEL 82-3351



工業部会「子供科学教室」

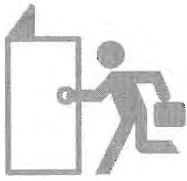
工業部会では、8月8日(土)に財さかきテクノセンターとの共済で「夏休み子ども科学体験教室」を開催しました。町内3小学校に呼びかけ小学生34名・保護者22名に参加いただきました。部会幹事7名も参加し、お手伝いいただきました。今年のテーマは「電気ってなりました」。

「ソーラーカー」づくりに取りかかりました。完成すると子どもたちは屋外に飛び出しました。お天とうさんの光を浴びたソーラーカーは、ゆっくりと動き出し子供たちは、大喜び。

の製作を行いました。「電気」の速さ実験では1mと100mの電気コードを使って速度を比べ、同時に電球が点灯。「電気の実験」では、これが電気の音? (ヴォアーン)、「感触体験」では、乾電池なら大丈夫とアルミ箔球に触れるとビリッ! 衝撃にびっくり。発電実験では「磁石で発電」(ブランク式発電機)「化学反応発電」(くだもの電池、燃料電池、シリコン太陽電池)を体験しました。

日程は、電気の実験を2時間、残りの1時間で「ソーラーカー」

最初恐る恐る実験に手を出していた子どもたちも、慣れるに従い意欲的になり、身を持って電気について体験学習できました。



おじゃまします

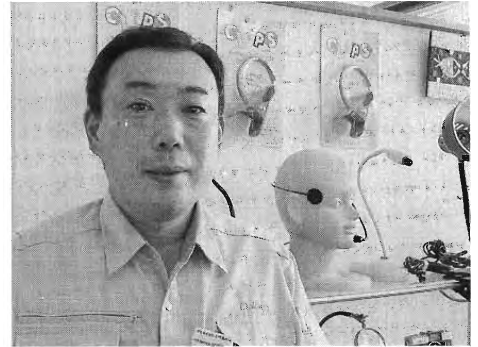
さかき新企業人インタビュー⑤

みやざわおきみち
宮澤興道さんプロフィール

株式会社大門製作所 代表取締役社長

昭和33年生まれ。丸子実業高校卒。都内の取引先企業で約10年勤めた後、ふるさとに戻り大門製作所に入社。サラリーマン時代に培った営業ノウハウを生かし新規開拓や新製品開発などに携わり、平成18年、代表取締役社長に就任。好きなスポーツは野球とゴルフだが、「最近では家で息子さんと遊ぶことが多い」とか。高校時代に親しんだアコースティックギターを時々弾く楽しみも。

国内外で高い評価を受ける 専門メーカーの技術力は、 柔軟かつ前向き思考の賜物



電気スタンドや卓上マイクなど、私たちの身近な製品にも使われるフレキシブルチューブを製造する県内唯一の専門メーカーが大門製作所。国内外からその高い技術力を評価される同社の2代目社長、宮澤興道さんにお話を聞きました。

——御社がメインで製造されているフレキシブルチューブとはどのようなものですか。

「電気スタンドや卓上マイク、クロホンなどで使われる自由自在に動かすことが出来る金属製支柱のことです。フレキシブルチューブの歴史は古く、第2次世界大戦前のドイツでヒトラーがマイク演説をした時に使われたのが最初だそうです。現在では音響機器や照明器具、医療・健康器具など幅広い分野で様々なタイプ、大きさのものが使われています」

——専門メーカーとして製品作りでのこだわりは？

「海外から安価なものがたくさん輸入され、様々な製品があるなか、私たち専門メー

カーのこだわりはあくまで品質です。例えば卓上マイク、クロホンの場合、雑音やきしみ音があつてはならないし、曲げる際は些細な音もマイクが拾わないよう静かですムーズに可動しなければなりません。口元に持つとくるときに曲げやすく、かつその状態を確実に固定・保持できることも欠かせません。材質や加工方法など常に試行錯誤を繰り返して、技術の向上に努めています」

——そうした高い技術力が評価され、長野五輪開会式で天皇陛下が開会宣言をされたご専用マイク、クロホンにも採用されたのですね。

「そうですね。しかしこんなこともありました。今から5、6年前、中国の人民大会ですが、当社のフレキシブルチューブを使ったマイク、クロホン約200本が江沢民主席はじめ幹部の前に置かれました。そのセンターマイク、つまり江沢民さんのマイクの位置を決めても跳ね上がってしまい、結局200本すべてを取り替えて事なきを得ました。いい教訓になりましたね。『国

家間の重大事件に発展しかねない』などとおどかさされ、冷や汗ものでした(笑)」

——他に真似できない技術を持つ御社だからこそそのスケールの大きなお話ですね。国内有数の専門メーカーとして今後の展望は？

「フレキシブルチューブ自体は製品の中の一つのパーツです。当社ではチューブ製造だけでなく取付け金具も組み立てて納品することが多いのですが、そこで習得したノウハウを生かして当社オリジナルの完成品(市販品)を増やしていきたいですね。一方、取引先の製品開発の初期段階からお手伝いさせていただけるよう、高い付加価値を持った提案型営業にも力を入れていきたいと思っています」

——最後に宮澤さんの motto をお聞かせください。

「O型人間なので、まあ楽天的というか、明るく前向きにやっつけていこうと(笑)。社員は家族であり、チームですから、皆が同じ方向を向いて、前向きに楽しく仕事しよう、が motto です」



おじゃまします

さかき新企業人インタビュー⑥

まえざわかずひこ
前澤一彦さんプロフィール

フローラみゆき美幸園代表

昭和30年生まれ。上田千曲高校卒。子供の頃から花や自然が好きで、この仕事以外は考えられなかったという。盆栽にも興味を持ち、一時は盆栽の師匠について修業したことも。「1日水をやらないと枯れてしまう。花は生き物ですから」。365日休む間がないという前澤さんが、リタイアしたら奥様と二人、キャンピングカーで全国を旅するのが夢と語ってくれた。

物心がついたときから花と自然が大好き。「好きな花で仕事ができ、生活できるのは最高に幸せ」という前澤さん。今のよいうな卸中心の「お花屋さん」を始めたのは昭和60年、現在地に店舗を構えたのは平成12年。スーパーなどへの卸が約7割を占めるが、評判を聞いてお店を訪れるお客様も多い。店舗販売主体の真田支店もあり、小売の売り上げも堅調に伸びている。

「フローラみゆきを創業されたのはいつですか？」

「昭和60年です。生花や鉢物の卸売り販売を中心に始めました。現在でも約75%がスーパーやブライダル会場などへの卸販売です。小売を始めたのは平成12年、現在地に事務所を構えてから。真田に支店があり、そちらは小売中心です」

「この仕事を始められたきっかけはなんだったのですか。物心ついた頃から花が好きで、小学生のときには自分の花壇を作っていました。お

祭りのときは他の子供がおもちゃの屋台に群がっているのに、私は鉢植えが欲しい(笑)。学校を出てからも造園の仕事をしたり、盆栽の先生について勉強したり、花や植物に関わってきました」

「前澤さんを魅了する花の魅力とは何ですか。」

「一言でいうと、『包容力』でしょうか。地球上の生き物は植物がないと生きていけないでしょう。花や植物のすべてを包み込む優しさ、そんなところに魅せられるんです」

「好きな事を仕事にできるのはうらやましいですね。」

「好きこそ物の上手なれ、という気持ちでやっています。が、商売としてはそれなりに考えることも多いです。花屋も業態はいろいろです。小売だけでやっていける店はまずありません。そこで、集客もあり立地の良いスーパーやブライダル会場などへの卸業から始めたわけです。おかげ様でようやく軌道に乗り納入先も増えました。エリアは戸倉から軽井沢まで、国道18号線沿いを中心に展開しています」

「仕事上で良かったと思え

ることはありませんか。」

「買っていただいた鉢植えや観葉植物の元気がなくなったりと持つてこられるお客様がいらつしやいます。私は「入院」と言いますが、お預かりして元のように元気にしてお返しするときのお客様の笑顔を見るのがうれしいですね。最近では花の育て方を知らない花屋も多いんです。私は珍しい花が手に入ると必ず自分でも育てます。そうでなければお客様に説明できません。花を育てるのが自分の得意分野だと思っています。坂城町は「バラの町・さかき」として一生懸命に下地作りをしています。ですが、これからはそれを根付かせることが大切ですね。バラに限らずいろいろな花々が町が彩られたら素敵でしょう。そんな花の文化を根付かせるお手伝いもしたいですね」

「最後に信条をお聞かせください。」

「物事の重軽と緩急を判断して行動すること。切花は生き物です。花の命は短く、繊細で保存も難しい。お客様が求める最高のタイミングで最も良い状態の花をご提供するに、は早い決断が必要なのです」



好きというだけで才能だと思っ
だからこそ頑張る、努力する

青年部



青年部副部長 守屋 健作

今年度は、役員改選の年であり、4月より中島代表を中心に「常に前向きに考え挑戦していく事」をモットーに青年部活動を始動しております。

新たな挑戦の第一弾として第14回ばら祭りに出店してみました。

2週間の長丁場でした。今までのイベントでは町内の皆様がお客様であり、顔見知りが多い中での物販でしたが今回は町外、県外のお客様も多く、青年部を知らないお客様に物を買っていただく貴重な経験ができました。

一昨年からは始めているホームページにはばら祭りに来られた遠方の方からもブログに多くのコメントが入ってくるなど、成果を挙げており現在77000ヒットを達成しております。今後ま



感謝申し上げます。12月31日には坂城神社で前向きな挑戦をしている青年部員を見に足を運んでみて下さい。ほかに12月に行われる長野朝日放送の

すます充実したホームページを目指していきます。

各事業の担当委員長も新

しくなり、イベントごと前向きな挑戦をしていきます。

坂城どんどんでは、お菓子のつかみ取りやスイカ割り

など新しいイベントを行って

みました。スイカ割りは予想以上

に夏祭りの雰囲気盛り上げてくれました。

どしゃぶりの雨でどうなるかと思

ったどんどんも無事終了

できました。

これからは年末チャリティー

に向けて準備が進んでいきます。

チャリティーの収益金は毎年坂城町の小

中学校や各種団体に寄贈して

います。第37回年末チャリ

ティーの収益金は南条小学校に寄贈

しました。名入れだるまや、

坂城神社での皆様方のご協力に

感謝申し上げます。

ふるさとCM大賞にも応募いたしました。内容は坂城町の産業をアピールする作品になっております。今後とも親会をはじめ町民の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

女性部



女性部副部長 西沢 美恵子

七月に軽井沢で商工会女性部関東ブロック交流研修会が開催されました。11都県から1500人以上もの参加者が集まる中、それぞれの商工会女性部の活動についての発表と講演会がありました。

講演会では、伊那食品工業(株)の塚越寛氏から「いい店いい街」と題してのお話を聞くことができました。

きれいな処へ人は集まる！とのこと。社員自ら社内の整理整頓、トイレ、会社周囲の清掃なども行い、年間30万人の人が訪れているそうです。厳しい道のりを

— おねがい —
青年部では一緒に町を盛り上げていく新入部員を募集中です。



講演される塚越寛氏

いつも一緒に苦労している社員が会社の業績だけでなく、働きがい、生きがいを感じる必要があると考えられています。企業の真の目的は、社員の幸福であり、社員を通じて社会に貢献することであるという考えから信じ合う関係が生まれ、社員は皆輝いていられるでしょうね。いろいろな心に残るお話が聞かれています。有意義な時間を過ごすことができました。

編集後記

第三十二回坂城どんどんも楽しかった。通り雨にやや邪魔されたが参加者の気持ちでそれを吹き飛ばした。翌朝の清掃風景を知らない人は多いかもしれない。早朝から役場職員、ライオンズクラブの皆様、商工会職員、役員、(商店街)にぎわい坂城の皆さんも加わっての「祭りのあと」はゴミの片付け、いや、資源の分別作業というべきか。

「ゴミを出さない祭り」の提案はないのだろうか。現場に食器洗い機を導入するとかえって排水が出るのだろうか。考えは迷走するが、とにかくトイレやお酒おつまみを自主的に提供してくれた立町、横町の皆様

に感謝。(関戸)

広報編集委員会

- 委員長 関戸 啓司
- 副委員長 入部 和夫
- 委員 池田 尚弘
- 佐藤 洋子
- 中島 新一
- 滝澤 洋子
- 宮下 智彦